

## 会議の要旨（議事録）

会議の名称	令和元年度第1回 鳥栖市文化財保護審議会		
開催日時	令和元年7月12日（金） 午前10時	開催場所	鳥栖市役所南別館2階会議室
出席者数	委員 5名 事務局 5名	傍聴人数	0
議題	1. 報告事項 2. その他		
配布資料	令和元年度第1回 鳥栖市文化財保護審議会資料		
所管課	（課名）生涯学習課 （電話番号）85-3695		

教育長あいさつ

### 1. 報告事項

#### (1) 平成30年度事業報告

○調査について

○文化財の公開普及について

委員 ・学校教育で行われている総合学習におけるヒヤーガンサンサン古墳の活用法について

事務局 ・総合学習の一環で他の遺跡を含めた遺跡めぐりをおこなっている。

委員 ・268号機関車の維持管理について

事務局 ・錆を防ぐため塗料を塗っていたが、塗料の下で錆が進行する恐れがあるとして現在は錆落としや油を塗ることで管理している。経年劣化の記録をとりつつ、記録をとりつつ今後の必要となってくる修繕について考えていきたい。

委員 ・勝尾城のワークショップについて

事務局 ・ワークショップで得た意見を参考に今すぐできること、予算を伴うものを整理し、今後の活用法を考えていきたい。

#### (2) 令和元年度事業報告

〈資料P9～12により事務局より説明〉

○文化財保護法改正に伴う鳥栖市の文化財保護・活用計画の今後について

委員 ・昨年の文化財保護法の改正によって、鳥栖市の文化財保護の計画がどのように変わった

のか。

事務局 ・現段階では勝尾城を中心にして動いているが、今後は長崎街道や古墳等の史跡を含めた地域計画を策定していきたい。

・策定には地域における文化財保護の「担い手」を育てていかなければならない。

・地域との協働により地域計画を策定していきたい。

○文化財保護を担う地域団体の高齢化、減少化について

事務局 ・他の地域同様、ふるさと元気塾においても高齢化、人員の減少は見られる。

・勝尾城に限らず、文化財全体の保護・継承を担う「担い手」を確保していかなければならない。

委 員 ・歴史に興味がある人だけではなく、情報発信をしてそうでない人たちも取り込む事が重要。

・地域全体で民俗文化財継承を進めていける形づくりが必要である。

○埋蔵文化財の調査(本原遺跡)

事務局 ・国道3号線の拡幅に伴う本調査が今年度入っている。

・今年度は調査がまだ計画されている。

委 員 ・全体計画が分かるようにしてほしい。

○鳥栖駅舎及び周辺の開発について

事務局 ・今は具体的な動きはない。

## 2. その他

事務局、委員より報告

以上で終了。